

第265期末（2025年11月17日）	
基準価額	5,989円
純資産総額	131百万円
第260期～第265期 （2025年5月16日～2025年11月17日）	
騰落率	10.3%
分配金合計	150円

（注）騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

（9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ／パトナム・ 毎月分配ユーロインカムオープン

追加型投信／海外／債券

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2025年5月16日～2025年11月17日

第260期（決算日2025年6月16日） 第263期（決算日2025年9月16日）

第261期（決算日2025年7月15日） 第264期（決算日2025年10月15日）

第262期（決算日2025年8月15日） 第265期（決算日2025年11月17日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／パトナム・毎月分配ユーロインカムオープン」は、このたび第265期の決算を行いました。

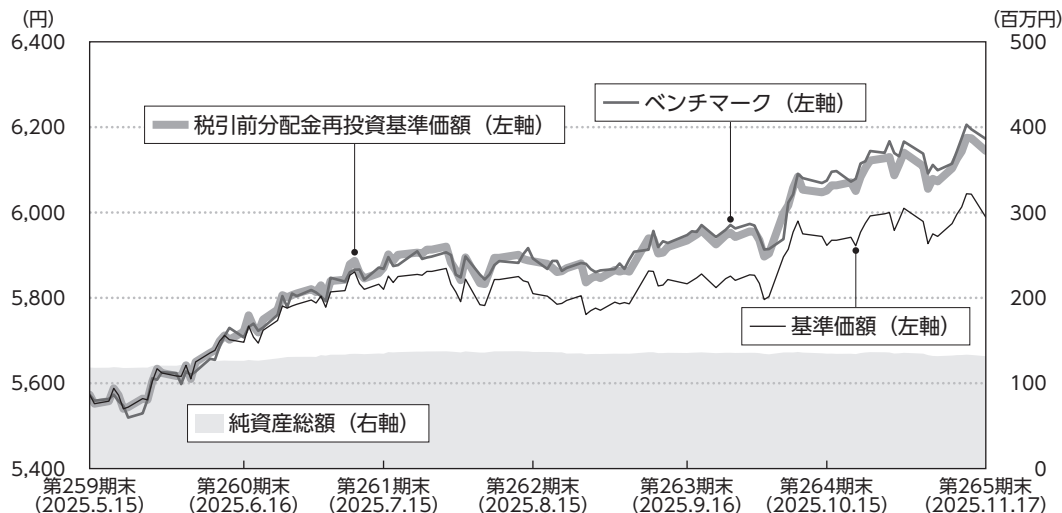
当ファンドは、「ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に投資することにより、セクター・銘柄を選択し、幅広く分散投資することで、中長期的に安定した収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2025年5月16日～2025年11月17日

基準価額等の推移



第260期首	5,573円	既払分配金	150円
第265期末	5,989円	騰落率（分配金再投資ベース）	10.3%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ベンチマークはブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）で、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。なおベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・当作成期初から7月下旬にかけて、欧州中央銀行（ECB）のラガルド総裁が今後の追加利下げに慎重な姿勢を示したことなどからユーロ高円安となったことや、イラン情勢の緊張が緩和したことなどにより投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどからイギリス・ポンドが買われ、イギリス・ポンド高円安となったこと
- ・10月上旬から当作成期末にかけて、自民党総裁選で高市氏が勝利したことで、財政拡張的な政策が示されるとの思惑から、ユーロ高円安およびイギリス・ポンド高円安が進行したこと

<下落要因>

- ・7月下旬から8月下旬にかけて、ドイツによる国防費増額計画を受けた国債の供給増加への懸念などからドイツ金利が上昇（債券価格は下落）したことや、イギリスと米国の関税協議の進展を受けて投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどからイギリス金利が上昇したこと

1 万口当たりの費用明細

項目	第260期～第265期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	37円	0.643%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は5,816円です。
(投信会社)	(21)	(0.364)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(15)	(0.252)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.017	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.012)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.001)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	38	0.660	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

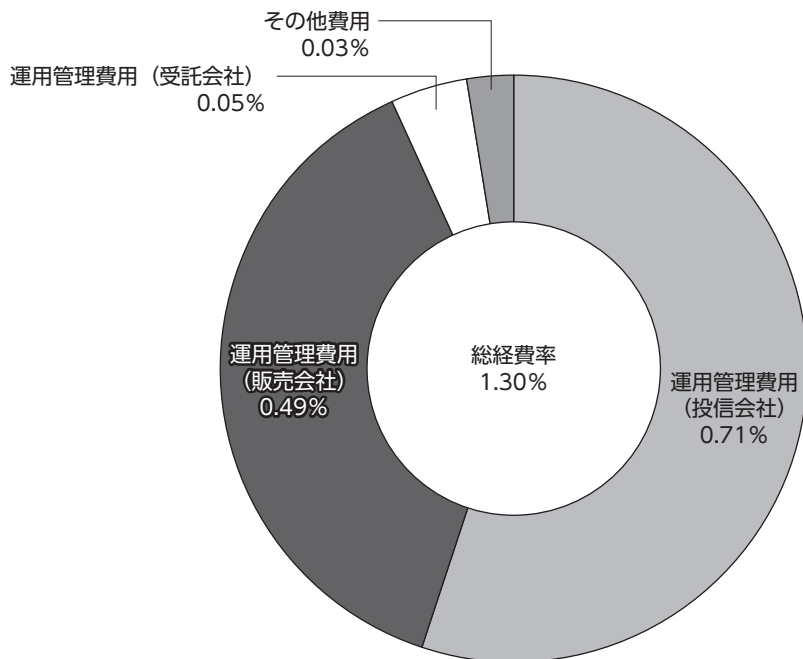
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.30%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

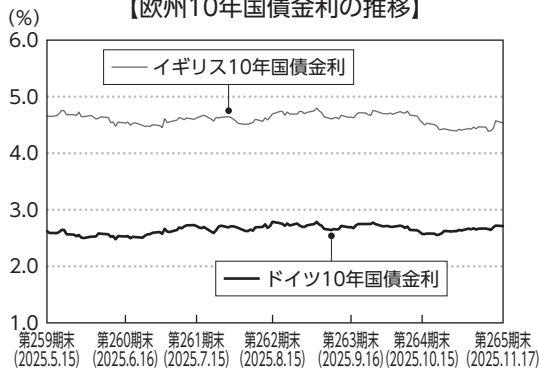
(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

■欧州債券市況

【欧州10年国債金利の推移】



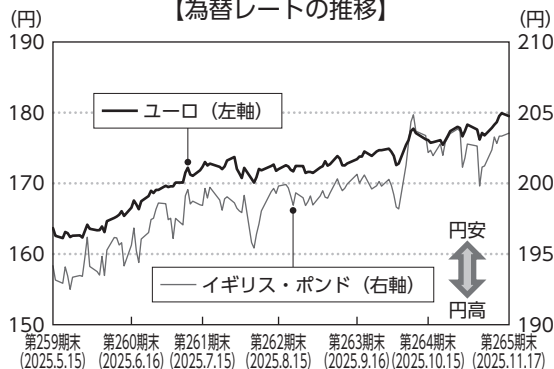
(注) ブルームバーグのデータを使用しています。

ドイツ10年国債金利は当作成期を通じて見ると上昇しました。当作成期初から5月下旬にかけて、米関税政策によってユーロ圏の経済が減速するとの懸念などから、金利は低下しましたが、6月中旬から8月下旬にかけて、ドイツによる国防費増額計画を受けた国債の供給増加への懸念などから上昇しました。9月下旬から10月中旬にかけて、8月のドイツ鉱工業生産が市場予想を下回ったことなどから金利は低下しましたが、当作成期末にかけてはユーロ圏の堅調な経済指標の発表を受けて上昇しました。

イギリス10年国債金利は当作成期を通じて見ると低下しました。当作成期初から6月上旬にかけて、イギリス国債への需要が高まったことなどから金利は低下しましたが、6月下旬から8月下旬にかけて、米国との関税協議の進展を受けて投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから上昇しました。10月上旬から下旬にかけて、米金利が低下した流れを受けてイギリス金利も低下しましたが、当作成期末にかけてはイングランド銀行（BOE：中央銀行）が政策金利を据え置いたことを受けて、追加利下げ観測が後退し上昇しました。

■欧州為替市況

【為替レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

ユーロ／円相場は当作成期を通じて見るとユーロ高円安となりました。当作成期初から7月下旬にかけて、ECBのラガルド総裁が今後の追加利下げに慎重な姿勢を示したことなどから、ユーロ高円安となりました。10月上旬から当作成期末にかけては自民党総裁選で高市氏が勝利したことで、財政拡張的な政策が示されるとの思惑から、ユーロ高円安がさらに進行了ました。

イギリス・ポンド／円相場は当作成期を通じて見るとイギリス・ポンド高円安となりました。当作成期初から7月上旬にかけて、イラン情勢の緊張が緩和したことなどにより投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどからイギリス・ポンドが買われ、イギリス・ポンド高円安となりました。10月上旬から当作成期末にかけては自民党総裁選で高市氏が勝利したことで、財政拡張的な政策が示されるとの思惑から、イギリス・ポンド高円安がさらに進行了ました。

ポートフォリオ

■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に分散投資することで、インカム・ゲインを中心とした収益の確保に努め、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

当マザーファンドのポートフォリオの内容については、運用委託先であるフランクリン・アドバイザーズ・インクのデータに基づき作成しています（一部データを除きます）。

当作成期末の保有債券は、組入比率の高い順に国債（57.7%）、投資適格社債（41.1%）、エマージング債券（0.9%）としています。投資適格社債の組み入れを対ベンチマーク比で多めの配分とした一方、政府・国際機関債等を少なめの配分としました。前作成期末と比較すると国債の配分をやや引き上げ、投資適格社債の配分もやや引き上げました。

当作成期のデュレーションは対ベンチマーク比で中立近辺に調整し、平均格付は前作成期末より引き続き「A格」としています。

（注1）比率は外貨建資産に対する評価額比です。

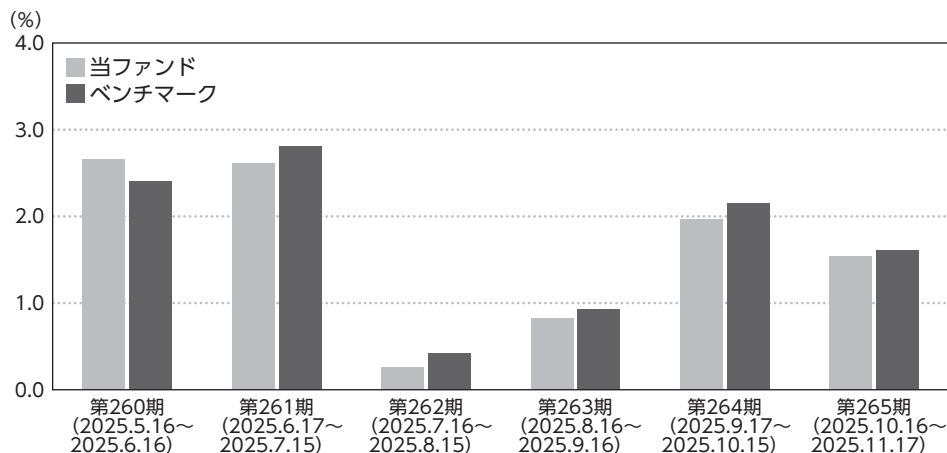
（注2）デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。以下同じです。

（注3）原則として格付はムーディーズ社、S & P社、フィッチ社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。

*ベンチマークはブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）です。ベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

ベンチマークとの差異



当作成期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+10.3%となり、ベンチマーク騰落率(+10.8%)を下回りました。

これは当ベビーファンドにおいて信託報酬等の費用を控除した影響などによるものです。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第260期 2025年5月16日 ～ 2025年6月16日	第261期 2025年6月17日 ～ 2025年7月15日	第262期 2025年7月16日 ～ 2025年8月15日	第263期 2025年8月16日 ～ 2025年9月16日	第264期 2025年9月17日 ～ 2025年10月15日	第265期 2025年10月16日 ～ 2025年11月17日
当期分配金（税引前）	25円	25円	25円	25円	25円	25円
対基準価額比率	0.44%	0.43%	0.43%	0.43%	0.42%	0.42%
当期の収益	12円	11円	8円	11円	11円	12円
当期の収益以外	12円	13円	16円	13円	13円	12円
翌期繰越分配対象額	710円	696円	680円	667円	653円	641円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に投資することにより、セクター・銘柄を選択し、幅広く分散投資することで、中長期的に安定した収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

欧州経済は財政支出拡大による景気回復が期待されている一方、トランプ米大統領の掲げる関税政策が景気下押し要因として懸念されています。欧州金利は財政支出拡大による経済成長への期待感や国債増発への警戒感などに加え、大半のECBメンバーが「インフレ見通しを巡るリスクについておおむね均衡している」との見通しを示していることなどから、短い年限の金利については、低下余地は限定的であると考えています。一方で、長い年限の金利については、財政への懸念が高まった場合に上昇する可能性があると考えています。欧州社債のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は、財政支出拡大が欧州経済および企業活動を一定程度下支えすると期待される一方、トランプ米大統領の政策に対する不透明感を受け、横ばい圏から緩やかな拡大方向での推移になると考えています。

今後の運用については、金利変動リスクの大きさを示すデュレーションは、対ベンチマーク比で現在は中立近辺に調整していますが、市場動向に応じて調整します。債券種別配分は対ベンチマーク比で引き続き、投資適格社債の組み入れを多め、政府・国際機関債等の組み入れを少なめとする方針です。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■組入ファンド

	第265期末 2025年11月17日
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

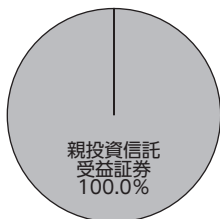
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

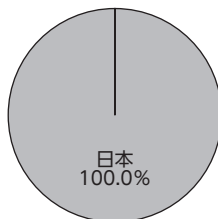
項目	第260期末 2025年6月16日	第261期末 2025年7月15日	第262期末 2025年8月15日	第263期末 2025年9月16日	第264期末 2025年10月15日	第265期末 2025年11月17日
純資産総額	126,247,424円	134,539,460円	136,571,718円	135,404,678円	134,584,061円	131,639,316円
受益権総口数	221,634,055口	231,159,459口	235,063,217口	232,118,088口	227,211,794口	219,797,702口
1万口当たり基準価額	5,696円	5,820円	5,810円	5,833円	5,923円	5,989円

(注) 当作成期間(第260期～第265期)中における追加設定元本額は26,539,789円、同解約元本額は19,108,082円です。

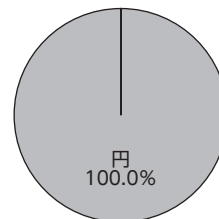
■資産別配分



■国別配分



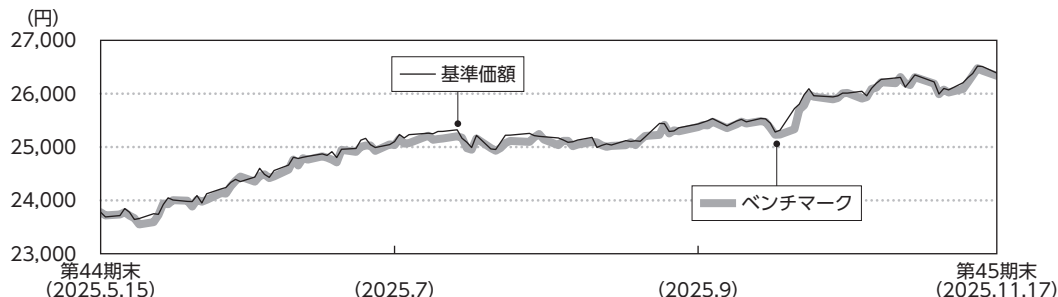
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2025年11月17日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンドの概要

■基準価額の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

■上位銘柄

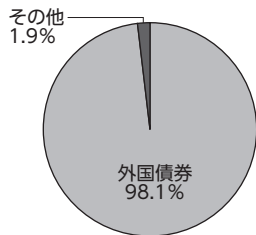
銘柄名	通貨	比率
CITIGROUP INC 1.5% 2028/10/26	ユーロ	4.1%
UK TREASURY 3.25% 2044/1/22	イギリス・ポンド	4.1
NETFLIX INC 3.625% 2030/6/15	ユーロ	3.8
UBS GROUP AG 0.625% 2033/2/24	ユーロ	3.5
FRANCE (GOVT OF) 0.5% 2029/5/25	ユーロ	3.4
BUONI POLIENNALI DEL TES 1.65% 2032/3/1	ユーロ	3.1
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 2.5% 2044/7/4	ユーロ	3.1
UBS GROUP 0.65% 2029/9/10	ユーロ	2.9
JPMORGAN CHASE & CO 3.761% 2034/3/21	ユーロ	2.8
PROCTER & GAMBLE CO/THE 3.25% 2031/8/2	ユーロ	2.8
組入銘柄数	66	

■1万口当たりの費用明細

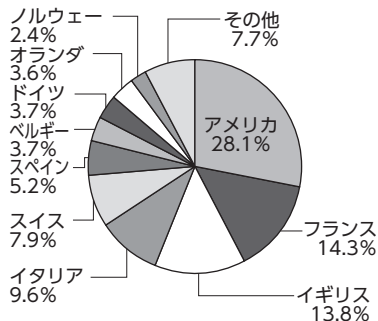
2025.5.16～2025.11.17

項目	金額
その他費用 (保管費用)	3円
(その他)	(3)
合計	3

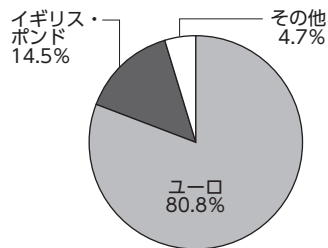
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2025年11月17日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	ベンチマーク	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円		%	%	百万円
236期(2023年 6 月15日)	5,426	25	2.2	13,733	19,055	2.2	94.6	167
237期(2023年 7 月18日)	5,548	25	2.7	13,880	19,706	3.4	95.2	169
238期(2023年 8 月15日)	5,588	25	1.2	13,945	19,897	1.0	96.2	169
239期(2023年 9 月15日)	5,532	25	△0.6	13,914	19,813	△0.4	96.6	166
240期(2023年10月16日)	5,450	25	△1.0	13,857	19,641	△0.9	96.9	164
241期(2023年11月15日)	5,738	25	5.7	14,170	20,764	5.7	95.3	172
242期(2023年12月15日)	5,659	25	△0.9	14,116	20,535	△1.1	96.4	167
243期(2024年 1 月15日)	5,719	25	1.5	14,201	20,942	2.0	95.9	168
244期(2024年 2 月15日)	5,741	25	0.8	14,248	21,160	1.0	96.1	168
245期(2024年 3 月15日)	5,748	25	0.6	14,280	21,235	0.4	95.9	168
246期(2024年 4 月15日)	5,796	25	1.3	14,353	21,458	1.0	96.7	169
247期(2024年 5 月15日)	5,932	25	2.8	14,514	22,200	3.5	96.7	173
248期(2024年 6 月17日)	5,940	25	0.6	14,547	22,285	0.4	95.4	174
249期(2024年 7 月16日)	6,071	25	2.6	14,703	22,929	2.9	96.6	165
250期(2024年 8 月15日)	5,764	25	△4.6	14,421	21,893	△4.5	96.2	155
251期(2024年 9 月17日)	5,593	25	△2.5	14,275	21,348	△2.5	96.2	149
252期(2024年10月15日)	5,763	25	3.5	14,470	22,184	3.9	95.4	153
253期(2024年11月15日)	5,811	25	1.3	14,543	22,424	1.1	96.1	151
254期(2024年12月16日)	5,719	25	△1.2	14,476	22,103	△1.4	95.4	148
255期(2025年 1 月15日)	5,576	25	△2.1	14,358	21,760	△1.6	95.9	145
256期(2025年 2 月17日)	5,559	25	0.1	14,366	21,902	0.7	97.0	145
257期(2025年 3 月17日)	5,495	25	△0.7	14,327	21,674	△1.0	97.4	143
258期(2025年 4 月15日)	5,559	25	1.6	14,416	22,152	2.2	95.8	139
259期(2025年 5 月15日)	5,573	25	0.7	14,455	22,329	0.8	96.8	118
260期(2025年 6 月16日)	5,696	25	2.7	14,603	22,867	2.4	97.5	126
261期(2025年 7 月15日)	5,820	25	2.6	14,752	23,510	2.8	97.2	134
262期(2025年 8 月15日)	5,810	25	0.3	14,767	23,608	0.4	97.4	136
263期(2025年 9 月16日)	5,833	25	0.8	14,815	23,828	0.9	96.6	135
264期(2025年10月15日)	5,923	25	2.0	14,930	24,339	2.1	97.8	134
265期(2025年11月17日)	5,989	25	1.5	15,021	24,731	1.6	98.1	131

(注1) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

年月日		基準価額	騰落率	ベンチマーク	騰落率	債券 組入比率
第 260 期	(期首)	円	%		%	%
	2025年 5 月15日	5,573	－	22,329	－	96.8
	5 月末	5,624	0.9	22,541	0.9	96.9
	(期末)					
第 261 期	2025年 6 月16日	5,721	2.7	22,867	2.4	97.5
	(期首)					
	2025年 6 月16日	5,696	－	22,867	－	97.5
	6 月末	5,795	1.7	23,312	1.9	97.4
第 262 期	(期末)					
	2025年 7 月15日	5,845	2.6	23,510	2.8	97.2
	(期首)					
	2025年 7 月15日	5,820	－	23,510	－	97.2
第 263 期	7 月末	5,791	△0.5	23,429	△0.3	97.0
	(期末)					
	2025年 8 月15日	5,835	0.3	23,608	0.4	97.4
	(期首)					
第 264 期	2025年 8 月15日	5,810	－	23,608	－	97.4
	8 月末	5,771	△0.7	23,496	△0.5	97.5
	(期末)					
	2025年 9 月16日	5,858	0.8	23,828	0.9	96.6
第 265 期	(期首)					
	2025年 9 月16日	5,833	－	23,828	－	96.6
	9 月末	5,853	0.3	23,917	0.4	97.2
	(期末)					
第 266 期	2025年10月15日	5,948	2.0	24,339	2.1	97.8
	(期首)					
	2025年10月15日	5,923	－	24,339	－	97.8
	10月末	6,010	1.5	24,706	1.5	96.0
第 267 期	(期末)					
	2025年11月17日	6,014	1.5	24,731	1.6	98.1

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2025年5月16日～2025年11月17日

	第260期～第265期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	千口 6,212	千円 15,328	千口 6,062	千円 15,572

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2025年5月16日～2025年11月17日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2025年11月17日現在

種類	第259期末	第265期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	千口 49,740	千口 49,890	千円 131,645

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド全体の口数は321,289千口です。

投資信託財産の構成

2025年11月17日現在

項目	第265期末	
	評価額	比率
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	千円 131,645	% 99.0
コール・ローン等、その他	1,316	1.0
投資信託財産総額	132,961	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお11月17日における邦貨換算レートは、1米ドル154.70円、1イギリス・ポンド203.55円、1スイス・フラン194.69円、1デンマーク・クローネ24.04円、1ノルウェー・クローネ15.29円、1スウェーデン・クローナ16.34円、1ポーランド・ズロチ42.48円、1ユーロ179.51円です。

(注2) ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（846,139千円）の投資信託財産総額（855,480千円）に対する比率は98.9%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

	(2025年6月16日)	(2025年7月15日)	(2025年8月15日)	(2025年9月16日)	(2025年10月15日)	(2025年11月17日) 現在
項目	第260期末	第261期末	第262期末	第263期末	第264期末	第265期末
(A) 資産	126,943,588円	135,250,737円	137,308,741円	136,136,266円	136,011,567円	132,961,868円
コール・ローン等	116,857	112,521	136,968	125,981	111,962	134,751
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド(評価額)	126,257,604	134,545,304	136,573,477	135,419,512	134,582,755	131,645,429
未収入金	569,127	592,912	598,296	590,773	1,316,850	1,181,688
(B) 負債	696,164	711,277	737,023	731,588	1,427,506	1,322,552
未払収益分配金	554,085	577,898	587,658	580,295	568,029	549,494
未払解約金	6,241	506	1,107	6	722,130	618,141
未払信託報酬	134,682	131,738	146,990	149,998	136,182	153,598
その他未払費用	1,156	1,135	1,268	1,289	1,165	1,319
(C) 純資産総額(A－B)	126,247,424	134,539,460	136,571,718	135,404,678	134,584,061	131,639,316
元本	221,634,055	231,159,459	235,063,217	232,118,088	227,211,794	219,797,702
次期繰越損益金△	95,386,631	96,619,999	98,491,499	96,713,410	92,627,733	88,158,386
(D) 受益権総口数	221,634,055口	231,159,459口	235,063,217口	232,118,088口	227,211,794口	219,797,702口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,696円	5,820円	5,810円	5,833円	5,923円	5,989円

(注1) 当作成期首元本額 212,365,995円

当作成期中追加設定元本額 26,539,789円

当作成期中一部解約元本額 19,108,082円

(注2) 元本の欠損

当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は88,158,386円です。

損益の状況

	(第260期 第261期 第262期)	2025年5月16日～2025年6月16日) 2025年6月17日～2025年7月15日) 2025年7月16日～2025年8月15日)	(第263期 第264期 第265期)	2025年8月16日～2025年9月16日) 2025年9月17日～2025年10月15日) 2025年10月16日～2025年11月17日)		
項目	第260期	第261期	第262期	第263期	第264期	第265期
(A) 配 当 等 収 益	12円	6円	10円	15円	9円	12円
受 取 利 息	12	6	10	15	9	12
(B) 有価証券売買損益	3,384,076	3,498,274	489,577	1,275,210	2,746,651	2,146,420
売 買 益	3,384,345	3,501,653	489,724	1,284,007	2,783,347	2,192,892
売 買 損	△ 269	△ 3,379	△ 147	△ 8,797	△ 36,696	△ 46,472
(C) 信 託 報 酬 等	△ 135,838	△ 132,873	△ 148,258	△ 151,287	△ 137,347	△ 154,917
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,248,250	3,365,407	341,329	1,123,938	2,609,313	1,991,515
(E) 前期繰越損益金	△ 11,932,575	△ 8,942,935	△ 5,839,797	△ 5,624,008	△ 4,656,459	△ 2,202,244
(繰越欠損金)	(△ 11,932,575)	(△ 8,942,935)	(△ 5,839,797)	(△ 5,624,008)	(△ 4,656,459)	(△ 2,202,244)
(F) 追加信託差損益金*	△ 86,148,221	△ 90,464,573	△ 92,405,373	△ 91,633,045	△ 90,012,558	△ 87,398,163
(配当等相当額)	(16,014,978)	(16,417,022)	(16,379,651)	(15,803,034)	(15,164,387)	(14,365,370)
(売買損益相当額)	(△102,163,199)	(△106,881,595)	(△108,785,024)	(△107,436,079)	(△105,176,945)	(△101,763,533)
(G) 合 計(D+E+F)	△ 94,832,546	△ 96,042,101	△ 97,903,841	△ 96,133,115	△ 92,059,704	△ 87,608,892
(H) 収 益 分 配 金	△ 554,085	△ 577,898	△ 587,658	△ 580,295	△ 568,029	△ 549,494
次期繰越損益金(G+H)	△ 95,386,631	△ 96,619,999	△ 98,491,499	△ 96,713,410	△ 92,627,733	△ 88,158,386
追加信託差損益金	△ 86,428,981	△ 90,779,889	△ 92,784,057	△ 91,944,545	△ 90,327,318	△ 87,672,180
(配当等相当額)	(15,740,522)	(16,107,625)	(16,003,536)	(15,491,841)	(14,849,956)	(14,092,901)
(売買損益相当額)	(△102,169,503)	(△106,887,514)	(△108,787,593)	(△107,436,386)	(△105,177,274)	(△101,765,081)
繰越欠損金	△ 8,957,650	△ 5,840,110	△ 5,707,442	△ 4,768,865	△ 2,300,415	△ 486,206

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注5) 当作成期の信託財産の運用指図に係る権限の一部を委託するために要した費用は219,553円です。

分配金の計算過程

項目	第260期	第261期	第262期	第263期	第264期	第265期
(a) 経費控除後の配当等収益	273,325円	262,582円	208,974円	268,795円	253,269円	275,477円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	16,021,282円	16,422,941円	16,382,220円	15,803,341円	15,164,716円	14,366,918円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	16,294,607円	16,685,523円	16,591,194円	16,072,136円	15,417,985円	14,642,395円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	735.20円	721.82円	705.82円	692.41円	678.57円	666.18円
(g) 分配金	554,085円	577,898円	587,658円	580,295円	568,029円	549,494円
(h) 分配金(1万口当たり)	25円	25円	25円	25円	25円	25円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

運用者情報

■当社運用担当者情報について

- ・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認ください。

■ニッセイ／パトナム・毎月分配ユーロインカムオープン



<https://www.nam.co.jp/fundinfo/npmeio/main.html>

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	<p>①ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に投資することにより、セクター・銘柄を選択し、幅広く分散投資することで、中長期的に安定した収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。</p> <p>外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジ（為替リスクの回避）を行いません。</p> <p>国内の短期金融資産を除く運用の指図に関する権限をフランクリン・アドバイザーズ・インクに委託します。</p> <p>②ブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、インカム・ゲイン（利子・配当等収益）を中心とした収益の確保に努めます。</p>	
主要運用対象	ニッセイ／パトナム・毎月分配ユーロインカムオープン	ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド受益証券
	ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	主にユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等
運用方法	ニッセイ／パトナム・毎月分配ユーロインカムオープン	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資には、制限を設けません。
分 配 方 針	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の利子等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>ただし分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p>	

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン マザーファンド

運用報告書

第 45 期

(計算期間：2025年5月16日～2025年11月17日)

運用方針	<p>①主にユーロ建ての欧州の公社債に分散投資を行い、中長期的に安定した収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標とした運用を行います。</p> <p>外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>②ブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、インカム・ゲイン（利子・配当等収益）を中心とした収益の確保に努めます。</p> <p>③運用にあたってはフランクリン・アドバイザーズ・インクに運用指図に関する権限（国内の短期金融資産の運用の指図に関する権限を除きます）を委託します。</p>	主要運用 対象	主にユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等
		運用方法	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。・ 外貨建資産への投資には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

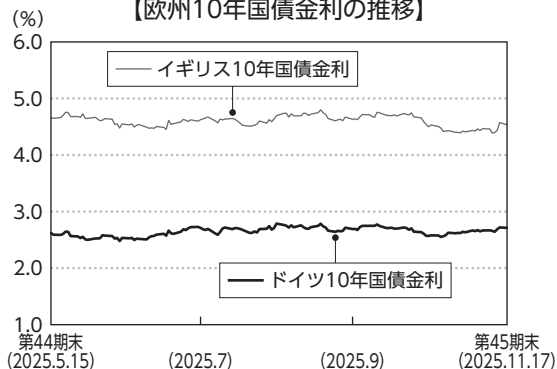
運用経過

2025年5月16日～2025年11月17日

投資環境

欧州債券市況

【欧州10年国債金利の推移】



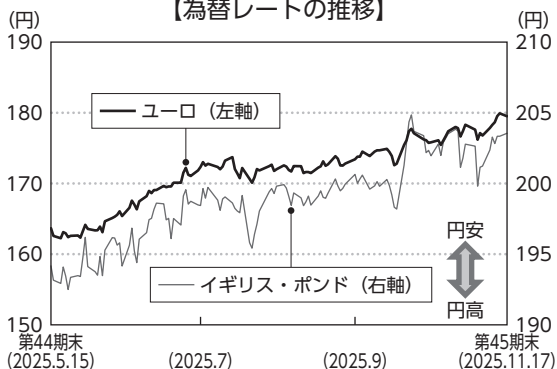
(注) ブルームバークのデータを使用しています。

ドイツ10年国債金利は期を通じて見ると上昇しました。期初から5月下旬にかけて、米関税政策によってユーロ圏の経済が減速するとの懸念などから、金利は低下しましたが、6月中旬から8月下旬にかけて、ドイツによる国防費増額計画を受けた国債の供給増加への懸念などから上昇しました。9月下旬から10月中旬にかけて、8月のドイツ鉱工業生産が市場予想を下回ったことなどから金利は低下しましたが、当期末にかけてはユーロ圏の堅調な経済指標の発表を受けて上昇しました。

イギリス10年国債金利は期を通じて見ると低下しました。期初から6月上旬にかけて、イギリス国債への需要が高まったことなどから金利は低下しましたが、6月下旬から8月下旬にかけて、米国との関税協議の進展を受けて投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから上昇しました。10月上旬から下旬にかけて、米金利が低下した流れを受けてイギリス金利も低下しましたが、当期末にかけてはイングランド銀行（BOE：中央銀行）が政策金利を据え置いたことを受けて、追加利下げ観測が後退し上昇しました。

欧州為替市況

【為替レートの推移】

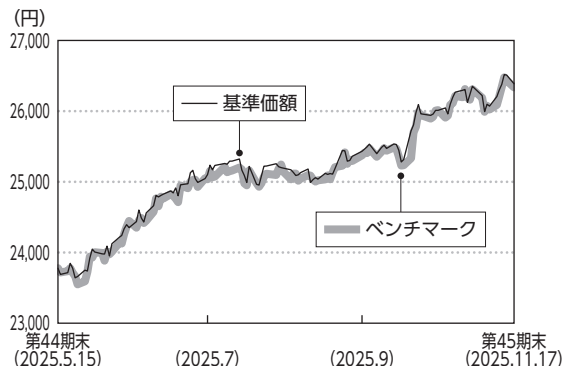


(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

ユーロ／円相場は期を通じて見るとユーロ高円安となりました。期初から7月下旬にかけて、ECBのラガルド総裁が今後の追加利下げに慎重な姿勢を示したことなどから、ユーロ高円安となりました。10月上旬から当期末にかけては自民党総裁選で高市氏が勝利したことで、財政拡張的な政策が示されるとの思惑から、ユーロ高円安がさらに進行了しました。

イギリス・ポンド／円相場は期を通じて見るとイギリス・ポンド高円安となりました。期初から7月上旬にかけて、イラン情勢の緊張が緩和したことなどにより投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどからイギリス・ポンドが買われ、イギリス・ポンド高円安となりました。10月上旬から当期末にかけては自民党総裁選で高市氏が勝利したことで、財政拡張的な政策が示されるとの思惑から、イギリス・ポンド高円安がさらに進行了しました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・期初から7月下旬にかけて、欧州中央銀行（ECB）のラガルド総裁が今後の追加利下げに慎重な姿勢を示したことなどからユーロ高円安となったことや、イラン情勢の緊張が緩和したことなどにより投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどからイギリス・ポンドが買われ、イギリス・ポンド高円安となったこと
- ・10月上旬から当期末にかけて、自民党総裁選で高市氏が勝利したことで、財政拡張的な政策が示されるとの思惑から、ユーロ高円安およびイギリス・ポンド高円安が進行したこと

<下落要因>

- ・7月下旬から8月下旬にかけて、ドイツによる国防費増額計画を受けた国債の供給増加への懸念などからドイツ金利が上昇（債券価格は下落）したことや、イギリスと米国の関税協議の進展を受けて投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどからイギリス金利が上昇したこと

ポートフォリオ

主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に分散投資することで、インカム・ゲインを中心とした収益の確保に努め、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

当マザーファンドのポートフォリオの内容については、運用委託先であるフランクリン・アドバイザーズ・インクのデータに基づき作成しています（一部データを除きます）。

当期末の保有債券は、組入比率の高い順に国債（57.7%）、投資適格社債（41.1%）、エマージング債券（0.9%）としています。投資適格社債の組み入れを対ベンチマーク比で多めの配分とした一方、政府・国際機関債等を少なめの配分としました。前期末と比較すると国債の配分をやや引き上げ、投資適格社債の配分もやや引き上げました。

当期のデュレーションは対ベンチマーク比で中立近辺に調整し、平均格付は前期末より引き続き「A格」としています。

(注1) 比率は外貨建資産に対する評価額比です。

(注2) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。以下同じです。

(注3) 原則として格付はムーディーズ社、S & P社、フィッチ社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、当マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当マザーファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は+11.0%となり、ベンチマーク騰落率（+10.8%）を上回りました。
これは投資適格社債の信用スプレッド（国債に対する上乗せ金利）縮小のプラス寄与などによるものです。

今後の運用方針

欧州経済は財政支出拡大による景気回復が期待されている一方、トランプ米大統領の掲げる関税政策が景気下押し要因として懸念されています。欧州金利は財政支出拡大による経済成長への期待感や国債増発への警戒感などに加え、大半のECBメンバーが「インフレ見通しを巡るリスクについておおむね均衡している」との見通しを示していることなどから、短い年限の金利については、低下余地は限定的であると考えています。一方で、長い年限の金利については、財政への懸念が高まった場合に上昇する可能性があると考えています。欧州社債のスプレッドは、財政支出拡大が欧州経済および企業活動を一定程度下支えすると期待される一方、トランプ米大統領の政策に対する不透明感を受け、横ばい圏から緩やかな拡大方向での推移になると考えています。

今後の運用については、金利変動リスクの大きさを示すデュレーションは、対ベンチマーク比で現在は中立近辺に調整していますが、市場動向に応じて調整します。債券種別配分は対ベンチマーク比で引き続き、投資適格社債の組み入れを多め、政府・国際機関債等の組み入れを少なめとする方針です。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中 騰落率	ベンチマーク	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額
	円	%		%	%	百万円
41期(2023年11月15日)	22,202	11.2	20,746	11.3	95.3	972
42期(2024年 5 月15日)	23,710	6.8	22,181	6.9	96.7	952
43期(2024年11月15日)	23,986	1.2	22,405	1.0	96.1	885
44期(2025年 5 月15日)	23,778	△ 0.9	22,310	△ 0.4	96.9	807
45期(2025年11月17日)	26,387	11.0	24,710	10.8	98.1	847

(注) ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	ベンチマーク	騰落率	債券 組入比率
	円	%		%	%
(期首) 2025年 5 月15日	23,778	—	22,310	—	96.9
5 月末	24,007	1.0	22,522	0.9	96.9
6 月末	24,871	4.6	23,293	4.4	97.4
7 月末	24,990	5.1	23,410	4.9	97.0
8 月末	25,038	5.3	23,476	5.2	97.5
9 月末	25,528	7.4	23,897	7.1	97.2
10月末	26,352	10.8	24,685	10.6	95.9
(期末) 2025年11月17日	26,387	11.0	24,710	10.8	98.1

(注) 騰落率は期首比です。

1 万口当たりの費用明細

2025年5月16日～2025年11月17日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	3円	0.012%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.012)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.001)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	3	0.012	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（25,166円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2025年5月16日～2025年11月17日

公社債

				買付額	売付額
外国	ユーロ	オランダ	国債証券	千ユーロ —	千ユーロ 9
		ベルギー	国債証券	71	106
		フランス	国債証券	59	9
		ドイツ	国債証券	—	9
		ポルトガル	国債証券	—	8
		イタリア	国債証券	50	108
		オーストリア	国債証券	28	—
		その他	社債券	—	100

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 地域は発行通貨によって区分しています。また、その他には国際機関等を含みます。以下同じです。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2025年5月16日～2025年11月17日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
BELGIUM KINGDOM	12,154	BUONI POLIENNALI DEL TES	18,993
FRANCE (GOVT OF)	10,754	PROLOGIS LP	17,874
BUONI POLIENNALI DEL TES	8,804	BELGIUM KINGDOM	13,546
REPUBLIC OF AUSTRIA	4,776	BELGIUM KINGDOM	4,801
—	—	FRANCE (GOVT OF)	1,727
		NETHERLANDS GOVERNMENT	1,723
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	1,620
		OBRIGACOES DO TESOURO	1,557

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2025年11月17日現在

外国（外貨建）公社債

区分		当期末							
		額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
			外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
イギリス		千イギリス・ポンド 640	千イギリス・ポンド 572	千円 116,614	% 13.8	% －	% 7.2	% 3.7	% 2.8
スイス		千スイス・フラン 60	千スイス・フラン 66	12,927	1.5	－	0.8	0.7	－
デンマーク		千デンマーク・クローネ 160	千デンマーク・クローネ 176	4,238	0.5	－	0.3	－	0.2
ノルウェー		千ノルウェー・クローネ 200	千ノルウェー・クローネ 191	2,926	0.3	－	－	0.3	－
スウェーデン		千スウェーデン・クローナ 630	千スウェーデン・クローナ 619	10,115	1.2	－	0.2	1.0	－
ポーランド		千ポーランド・ズロチ 170	千ポーランド・ズロチ 177	7,524	0.9	－	－	0.9	－
ユーロ	オランダ	千ユーロ 180	千ユーロ 171	30,766	3.6	－	3.0	0.6	－
	ベルギー	187	174	31,322	3.7	－	2.2	1.5	－
	フランス	712	673	120,959	14.3	－	7.6	5.4	1.3
	ドイツ	200	172	30,963	3.7	－	3.7	－	－
	ポルトガル	50	43	7,874	0.9	－	0.9	－	－
	スペイン	240	246	44,321	5.2	－	3.1	2.2	－
	イタリア	450	455	81,790	9.6	－	5.8	1.1	2.7
	フィンランド	40	34	6,224	0.7	－	0.7	－	－
	オーストリア	80	74	13,374	1.6	－	0.6	1.0	－
	その他	1,800	1,726	309,966	36.6	－	13.8	16.0	6.7
合計		－	－	831,912	98.1	－	50.0	34.4	13.8

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額	評価額	
						邦貨換算金額
イギリス		%		千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	千円
国債証券	UK TREASURY	0.3750	2026/10/22	120	116	23,709
	UK TREASURY	6.0000	2028/12/07	80	85	17,323
	UK TREASURY	4.3750	2030/03/07	70	71	14,457
	UK TREASURY	4.5000	2034/09/07	80	80	16,310
	UK TREASURY	3.2500	2044/01/22	220	169	34,436
	UK TREASURY	4.0000	2060/01/22	40	31	6,437
	UK TREASURY	2.5000	2065/07/22	10	5	1,095
	UK TREASURY	3.5000	2068/07/22	20	13	2,845
小計		—	—	—	—	116,614
スイス				千スイス・フラン	千スイス・フラン	
国債証券	SWITZERLAND	0.5000	2030/05/27	30	30	5,979
	SWITZERLAND	1.5000	2042/04/30	30	35	6,947
小計		—	—	—	—	12,927
デンマーク				千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	
国債証券	KINGDOM OF DENMARK	0.5000	2027/11/15	70	68	1,642
	KINGDOM OF DENMARK	4.5000	2039/11/15	90	108	2,596
小計		—	—	—	—	4,238
ノルウェー				千ノルウェー・クローネ	千ノルウェー・クローネ	
国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT	2.0000	2028/04/26	200	191	2,926
小計		—	—	—	—	2,926
スウェーデン				千スウェーデン・クローナ	千スウェーデン・クローナ	
国債証券	SWEDISH GOVERNMENT	0.7500	2028/05/12	550	533	8,713
	SWEDISH GOVERNMENT	3.5000	2039/03/30	80	85	1,402
小計		—	—	—	—	10,115
ポーランド				千ポーランド・ズロチ	千ポーランド・ズロチ	
国債証券	POLAND GOVERNMENT BOND	5.7500	2029/04/25	170	177	7,524
小計		—	—	—	—	7,524
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ	
オランダ						
国債証券	NETHERLANDS GOVERNMENT	0.2500	2029/07/15	30	27	5,010
	NETHERLANDS GOVERNMENT	3.7500	2042/01/15	50	53	9,573
社債券	HALEON NL CAPITAL BV	2.1250	2034/03/29	100	90	16,183
小計		—	—	—	—	30,766
ベルギー						
国債証券	BELGIUM KINGDOM	0.1000	2030/06/22	80	71	12,865
	BELGIUM KINGDOM	4.2500	2041/03/28	45	47	8,605
	BELGIUM KINGDOM	3.5000	2055/06/22	62	54	9,850
小計		—	—	—	—	31,322

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額	評価額	
					邦貨換算金額	
ユーロ		%		千ユーロ	千ユーロ	千円
フランス						
国債証券	FRANCE (GOVT OF)	2.7500	2027/10/25	60	60	10,884
	FRANCE (GOVT OF)	0.5000	2029/05/25	170	158	28,516
	FRANCE (GOVT OF)	0.0000	2030/11/25	110	96	17,267
	FRANCE (GOVT OF)	2.7000	2031/02/25	60	59	10,734
	FRANCE (GOVT OF)	3.0000	2033/05/25	50	49	8,907
	FRANCE (GOVT OF)	4.5000	2041/04/25	40	43	7,722
	FRANCE (GOVT OF)	3.2500	2045/05/25	10	8	1,609
	FRANCE (GOVT OF)	4.0000	2055/04/25	80	76	13,693
	FRANCE (GOVT OF)	3.2500	2055/05/25	32	26	4,736
社債券	TOTAL CAPITAL INTL SA	1.4910	2030/09/04	100	94	16,887
小計		—	—	—	—	120,959
ドイツ						
国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.5000	2044/07/04	160	145	26,062
	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	1.2500	2048/08/15	40	27	4,901
小計		—	—	—	—	30,963
ポルトガル						
国債証券	OBRIGACOES DO TESOURO	0.3000	2031/10/17	50	43	7,874
小計		—	—	—	—	7,874
スペイン						
国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.1500	2028/10/31	60	64	11,650
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.2500	2030/10/31	40	37	6,745
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	3.5500	2033/10/31	20	20	3,731
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	4.2000	2037/01/31	20	21	3,876
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.1500	2044/10/31	50	59	10,655
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.9000	2046/10/31	20	17	3,123
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.0000	2050/10/31	10	5	972
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	4.0000	2054/10/31	20	19	3,566
小計		—	—	—	—	44,321
イタリア						
国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	6.5000	2027/11/01	120	129	23,309
	BUONI POLIENNALI DEL TES	2.9500	2030/07/01	50	50	9,083
	BUONI POLIENNALI DEL TES	1.6500	2032/03/01	160	148	26,665
	BUONI POLIENNALI DEL TES	4.0000	2037/02/01	10	10	1,877
	BUONI POLIENNALI DEL TES	4.7500	2044/09/01	100	110	19,752
	BUONI POLIENNALI DEL TES	1.7000	2051/09/01	10	6	1,102
小計		—	—	—	—	81,790
フィンランド						
国債証券	FINNISH GOVERNMENT	1.1250	2034/04/15	40	34	6,224
小計		—	—	—	—	6,224

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額	評価額	
					千ユーロ	邦貨換算金額 千円
ユーロ		%		千ユーロ	千ユーロ	千円
オーストリア						
国債証券	REPUBLIC OF AUSTRIA	0.5000	2029/02/20	50	47	8,489
	REPUBLIC OF AUSTRIA	3.1500	2053/10/20	30	27	4,885
小計		—	—	—	—	13,374
その他						
特殊債券	EQUINOR ASA	1.2500	2027/02/17	100	98	17,710
社債券	AMGEN INC	2.0000	2026/02/25	120	119	21,521
	AT&T INC	2.0500	2032/05/19	130	120	21,618
	BANK OF AMERICA CORP	1.1020	2032/05/24	115	102	18,482
	BECTON DICKINSON AND CO	1.9000	2026/12/15	100	99	17,851
	CHUBB INA HOLDINGS INC	1.5500	2028/03/15	100	97	17,540
	CITIGROUP INC	1.5000	2028/10/26	200	194	34,909
	GOLDMAN SACHS GROUP INC	4.0000	2029/09/21	50	52	9,377
	JPMORGAN CHASE & CO	3.7610	2034/03/21	130	133	23,876
	NETFLIX INC	3.6250	2030/06/15	175	180	32,315
	PROCTER & GAMBLE CO/THE	3.2500	2031/08/02	130	132	23,806
	UBS GROUP	0.6500	2029/09/10	150	138	24,796
	UBS GROUP AG	0.6250	2033/02/24	200	164	29,492
	VERIZON COMMUNICATIONS	1.2500	2030/04/08	100	92	16,669
小計		—	—	—	—	309,966
ユーロ小計		—	—	—	—	677,564
合計		—	—	—	—	831,912

投資信託財産の構成

2025年11月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	831,912	97.2
コール・ローン等、その他	23,567	2.8
投資信託財産総額	855,480	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお11月17日における邦貨換算レートは、1米ドル154.70円、1イギリス・ポンド203.55円、1スイス・フラン194.69円、1デンマーク・クローネ24.04円、1ノルウェー・クローネ15.29円、1スウェーデン・クローナ16.34円、1ポーランド・ズロチ42.48円、1ユーロ179.51円です。

(注2) 外貨建純資産（846,139千円）の投資信託財産総額（855,480千円）に対する比率は98.9%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年11月17日現在)

項目	当期末
(A) 資産	906,943,179円
コール・ローン等	14,640,163
公社債(評価額)	831,912,251
未収入金	52,561,236
未収利息	7,570,263
前払費用	259,266
(B) 負債	59,152,316
未払金	52,369,452
未払解約金	6,782,864
(C) 純資産総額(A-B)	847,790,863
元本	321,289,533
次期繰越損益金	526,501,330
(D) 受益権総口数	321,289,533口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,387円

(注1) 期首元本額 339,702,801円
期中追加設定元本額 12,237,566円
期中一部解約元本額 30,650,834円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン 271,399,273円
ニッセイ／パトナム・毎月分配ユーロインカムオープン 49,890,260円

損益の状況

当期（2025年5月16日～2025年11月17日）

項目	当期
(A) 配当等収益	11,438,263円
受取利息	11,419,239
その他収益金	19,024
(B) 有価証券売買損益	75,656,439
売買益	80,528,488
売買損	△ 4,872,049
(C) 先物取引等損益	313,126
取引益	313,126
(D) 信託報酬等	△ 105,159
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	87,302,669
(F) 前期繰越損益金	468,051,650
(G) 追加信託差損益金	18,136,124
(H) 解約差損益金	△ 46,989,113
(I) 合計(E+F+G+H)	526,501,330
次期繰越損益金(I)	526,501,330

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (G)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (H)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

指数に関して

■ファンドのベンチマーク等について

- ・ブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）

ブルームバーグ汎欧州総合インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、汎欧州通貨建て投資適格債券市場のパフォーマンスを表します。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。